

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成19年8月9日(2007.8.9)

【公表番号】特表2007-514797(P2007-514797A)

【公表日】平成19年6月7日(2007.6.7)

【年通号数】公開・登録公報2007-021

【出願番号】特願2006-518258(P2006-518258)

【国際特許分類】

C 1 0 G 7/10 (2006.01)

C 1 0 L 1/24 (2006.01)

【F I】

C 1 0 G 7/10

C 1 0 L 1/24

【手続補正書】

【提出日】平成19年6月8日(2007.6.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

次式



〔式中、

Bは、直鎖もしくは分岐形態の非環式または環式のいずれかであることができ、1から18個、好ましくは1から4個の炭素原子を含む、2価の飽和炭化水素基を表し、

Rは、水素原子、またはアルカリもしくはアルカリ土類金属、またはアンモニウム基、またはアルキル（直鎖または分岐）、シクロアルキル、アリール、アルキルアリールまたはアリールアルキル基を表し、前記基は、1から18個、好ましくは1から10個の炭素原子、および場合により1個または複数個のヘテロ原子を含む。〕

の化合物の有効量を、精製プラントで処理する炭化水素のストリームに、添加することを含むことを特徴とする、ナフテン酸による精製プラントの金属壁の腐食と戦う方法。

【請求項2】

式(I)の化合物として、チオグリコール酸またはそのエステルの1種、好ましくは脂肪族エステルを使用することを特徴とする請求項1に記載の方法。

【請求項3】

チオグリコール酸2-エチルヘキシル、チオグリコール酸イソオクチルまたはチオグリコール酸メチルを使用することを特徴とする請求項1または2に記載の方法。

【請求項4】

式(I)の化合物の量が、炭化水素ストリームの重量に対して、10から5000 ppm、好ましくは50から500 ppmの範囲にある、イオウの相当する重量で表した濃度に一致することを特徴とする請求項1から3のいずれか一項に記載の方法。

【請求項5】

処理する炭化水素ストリームが、0.2を超える、好ましくは2を超えるTANを有することを特徴とする請求項1から4のいずれか一項に記載の方法。

【請求項6】

200から450℃より特に250から350℃の温度で実施することを特徴とする請

求項 1 から 5 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 7】

処理する炭化水素ストリームが、石油原油、常圧蒸留残油、常圧および減圧蒸留から生じる軽油留分、ならびに減圧蒸留から生じる減圧蒸留液および残油から選択されることを特徴とする請求項 1 から 6 のいずれか一項に記載の方法。